

心を込めてつくった苗を子どもたちに

5月11日、JAかみましき女性部御船支部育苗部会（野口英子部長・12人）が、町内の小中学校や保育園など15施設に、花の苗6種類、約2400本を贈りました。花はマリーゴールドやサルビアなど他4種類。野口会長は「昨年は地震で届けられなかったけれど、今年こそはという思いでした。みんなで一緒に植えてください」と話しました。御船小学校の環境委員長の渡邊隆之介くん（小5）は「学校を花いっぱいにして、きれいな花を咲かせたい」と笑顔で話しました。



育苗部会会員（写真上）と御船小の環境委員たち（写真下）



恐竜観光ガイドに化石の説明を受ける参加者たち

恐竜わくわく発掘体験

5月5日・7日、吉無田高原緑の村にオープンした「わくわく化石発掘ランド」でオープニング発掘体験が行われました。2日間で130人が参加。恐竜観光ガイドから発掘方法を聞き、約9千万年前の地層の石を専用のハンマーで割り、本物の化石を発掘している参加者の目は輝いていました。初めて化石発掘体験をした寺井涼太くん（宇土小3年）は「貝の化石が見つかった。なんの化石が見つかるかわくわくして楽しかった」と話しました。

バラ園のオープンガーデン

緒方鎮雄さん（滝川）宅の庭に作られたバラ園は、自由に見学できることで人気が広がり、毎年4月下旬から多くの方が訪れています。約1,000平方メートルに広がる庭は、つるバラを中心とし、約250種類のバラが庭園を包みます。南阿蘇から訪れた人は、「丁寧に仕上げられていらっちゃって、バラの一つ一つの香りもよく、とてもきれいです」と絶賛の声。緒方さんは「今年は、五庵橋の横に“ノックアウト”という丈夫でほのかな独特の香りがあるバラを植えました。通る人たちに見て楽しんでもらえたらうれしいです」と笑顔で話しました。



1_バラ園にを訪れた人に説明する緒方さん（左） 2・3_約250種類のバラが咲いているバラ園 4_五庵橋の横に咲いているノックアウト（バラ）



宮本理恵さん 新潟県上越市出身。1983年生まれで3人の子を持つお母さん。趣味は歌を歌うこと。特技は折り紙。

なぜ御船町で、地域おこし協力隊に入隊しようと思ったのか

どういった活動をするのか

熊本地震がきっかけで何度か震災支援で御船に来ているうちに、町民の方やボランティアの方たちとのふれあい、新しい町づくりをしようという活気を感ずき、貢献したいと思い、入隊しました。

御船町はどんな印象か

外から（町外）から来る人たちのことを大事にしており、観光を大事にしているという印象です。地震後は、人と人との思いやり、つながり、絆を感じました。

子どもも大人もわくわくドキドキできる町にしたいです。観光客だけでなく、町民自身も楽しんで携わり、観光を盛り上げたいと思います。そのためには、たくさんの方の意見を聞いて、考え、地域おこし協力隊員だからこそ、やれることをやりたいです。

化石発掘体験の観光産業化を担当します。化石発掘体験を町全体の観光産業として、軌道に乗せる仕組みづくりをします。

どんな御船町にしたいか



THE NATIONAL SUMMIT
OF COMMUNITY-REACTIVATING
COOPERATOR SQUAD

御船町に地域おこし協力隊が発足！
5月1日、御船町地域おこし協力隊へ委嘱状が交付されました。本町では、2名の隊員を受け入れ、様々な分野で移住定住支援や地域活性化などを目的として活動します。

地域おこし協力隊って？

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある町民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。



堀永圭佑さん 福岡県出身。1987年生まれで今年1月に結婚、8月には第二子を出産予定。趣味は旅行に行ったり、音楽を聴くこと。特技はスポーツ全般。

御船町はどんな印象か

御船の人たちは優しいというのが第一印象です。初めて田代地区を訪れたとき

なぜ御船町で、地域おこし協力隊に入隊しようと思ったのか

熊本に来て、農業を経験して、いつかは自分で農業がしたいという思いが強くなってきたところでした。御船町の人と話していて、「御船町をもっとこうしたい！」と話を聞いているうちに、たくさんアイデアが飛び、私がやりたいと思う農業で復興にアプローチできるならと思う、入隊しました。

どんな御船町にしたいか

いろんな人たちが住みたいと思うような環境整備や町外から来る人たちに田舎の良さ・農業の良さなど分かってもらえるようにしたいです。衣食住を大事に田代地区から盛り上げていきます。

どういった活動をするのか
主に田代地区で農業をしていきます。その中で移住や定住など空き家対策にも取り組みます。

に、見ず知らずの私に料理まで振舞っていただき、人の温かさを感じました。